

目指す子供の姿

- 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。
- 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し、豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。
- 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとすることができる。

目指す子供を育成するための教師が取り組む具体的な実践内容

- ①造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表す学習活動の充実**
 - ◇形や色彩、材料や光などの造形の要素に着目してそれらの働きを捉える学習活動を設定する。
 - ◇全体に着目して造形的な特徴から作者の思いや表現意図などを捉え、自分の考えや表現の仕方との共通点、相違点を見付ける学習活動を設定する。
 - ◇自分の表現意図に合う表現形式や技法、材料などを選択する学習場面を設定する。
- ②主題を生み出し、豊かに発想し構想を練る学習活動の充実**
 - ◇生徒自らが感じ取ったことや考えたこと、目的や条件などを基に主題を生み出すことができるように支援を行い、自己の夢や目標を表現することで自己実現を体現する学習活動を設定する。
 - ◇「A表現」と「B鑑賞」の相互の関連を十分に図る学習場面を設定する。
- ③美術や美術文化に対する見方や感じ方を深める学習活動の充実**
 - ◇美術作品や、生活や社会の中の美術の働きや美術文化について感じたことや考えたことを交流する場面を設定する。
 - ◇心に残った他者の言葉や表現の仕方の工夫を記録し、それを基に自分の価値意識をもって批評し合う言語活動の場面を設定する。
- ④ICTの効果的な活用による表現及び鑑賞の活動の充実**
 - ◇表現活動では、容易に試行錯誤することができるソフトウェアを活用して構想を練ったり、動画を作成して映像表現を行ったりする。
 - ◇鑑賞活動では、自分の表現を1人1台端末等に画像や動画で記録して活動の軌跡を振り返ったり、自分の感じたことや考えたことについて記入したワークシートを共有して交流したりする学習場面を設定する。
 - ◇美術館等のWebサイトを閲覧して美術作品を鑑賞し、感じたことや考えたことを交流する場面を設定する。